

終活事典123

⑪

老後の資金計画

働いて収入が入ってくる間は、少々無駄遣いをして、また働けばいいと思えます。しかし、年金暮らしともなると、新たな収入を得ることが難

予定表作り費用を確認

しく今後の資金が足りるのかどうか不安になる人も多いでしょう。

老後はお金を使わないイメージがありますが、実際には時間もたつぷりあり、お金を使う場面が多くなります。その上、マイナスイ金利の影響もあって貯蓄は全く増えませんが、

そこで、今後の不安を解消するためには資金計画が重要になってきます。しかし、これからお金がいくらかかるかはあまりにも漠然としていて見当がつかない人も多いでしょう。

まずは、日々の生活でいくらかかっているかの確認が必要になってきます。例えば、食費、光熱

費、住居費、保険料、病院代、被服費などです。そこで毎月必要な生活費が分かります。

すると、その生活費を年金で補えなければ貯蓄を切り崩していくことになり。例えば、1カ

月で年金では補えない金額が5万円なら5年後には300万円貯蓄が減る計算になります。

今後のさまざまなイベントにかかる予算の把握も必要です。ライフイベント表を作成し、今後、



イラスト/小林隆一 SHIMOTSUKI GRAPHICS

いつどんなイベントがあり、いくらぐらいかかるか確認しましょう。車の購入費や旅行、孫のお祝い事などがそれに当たります。また急な入院費用や介護時の初期費用のための予算を別枠で確保しておくでしょう。

このようにかかる費用が分かれば節約すべきところが、使うべきところが分かります。中には、必要以上に怖がってお金を使わない人も多く見受けられます。それはそれでもったいないと思いません。

これからいくらぐらい必要かなどの資金計画は、ファイナンシャルプランナーなどの専門家に相談するとよいかもしれません。

(終活アドバイザー・廣木智代)